

2021年度（令和3年度）保育における自己評価結果

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。これに基づき、ゆずの木保育園では保育の質の向上を図るため自己評価を実施いたしました。評価の結果を踏まえ今後もより良い保育を提供できるよう努力します。

※尚、評価はA B C Dの4段階評価とします。

A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

【ゆずの木保育園】評価対象期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで 評価責任者 園長 新井理恵

自己評価の観点	総合評価
1、園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について	
①園の保育理念・保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	A
2、保育について	
①一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A
②年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A
③評価、資料（諸記録）を集積している	A
④園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よくすごせるよう配慮している	B
⑤気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気・照度など配慮している	A
⑥季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A
⑦子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A
⑧それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A
⑨保育についての話し合いをよくしている	A
⑩保育士自身が楽しんで保育をしている	A
⑪それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	A
3、健康管理について	
①日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A
②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B
③乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A
4、行事について	
①行事の種類や実施回数は適切である	B
②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A
5、食育について	
①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A
②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A
③調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A
6、運営について	
①園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A
②各種会議を適切かつ効率的に進めている	B
③打合せ回数、時間、内容は適切である	B

自己評価の観点	
7、保健・安全指導について	
①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B
②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A
③事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A
④部屋や廊下に落ちているものを拾ったり、濡れている所を雑巾で拭いたり意識している	A
⑤室内の衛生・クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境を整える	B
8、研修・研究について	
①実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A
②園内・園外研修への参加態勢の充実を図っている	A
③研修報告を園内で実施している	A
9、情報について	
①園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A
②園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A
③各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B
10、設備について	
①施設内外。設備の安全点検を計画的に行っている	A
②掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A
11、保護者支援について	
①子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A
②クラス懇談や個別懇談をおこなっている	A
③入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A
④保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A
12、開かれた保育所づくりについて	
①園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に開放している	A
②職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A
③医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A
④中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A
⑤来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A
13、情報発信について	
①園だより、ホームページで情報発信につとめている	A
②行事や子育て支援等を地域や小学校等に対して周知している	B

【総合評価】

- ・コロナ禍の中、行事の取り組み方、会議の進め方の見直しをしてきました。そのことによって、参加制限が起き、十分な意見交流ができませんでした。来年度は回数を増やして参加者を増やす等改善をします。
- ・昨年に引き続き、お便りの回数を増やし、子どもたちの様子を伝えてきましたが、職員から直接聞きたいと保護者からの声があがり、マスクを着用しながら会話を増やします。
- ・研修はリモート、感染対策をしての対面と多様にできました。